

さいと市議会だより



三納地域づくり協議会の皆様による三納川の鯉のぼり

● 3月定例会の概要 ●

平成 29 年第 1 回定例会は 3 月 6 日に招集。3 月 31 日までの会期で、市長提出議案 63 件、報告案件 1 件、議員提出議案 1 件、陳情 1 件について審査を行いました。

その結果、市長提出議案 63 件は原案可決（西都児湯公平委員会委員の選任及び西都市農業委員会委員の任命については同意）、議員提出議案 1 件は原案可決としました。

なお、陳情 1 件については継続審査としました。

主な掲載内容

- ◎ 一 般 質 問 . . . P 2 ～ 6
- ◎ 議 案 審 議 結 果 . . . P 7 ～ 9
- ◎ 委 員 会 審 査 報 告 . . . P 9 ～ 10
- ◎ 特 別 委 員 会 報 告 . . . P 11 ～ 12

次のページから一般質問

3 月 13 日～15 日に 10 名の議員が登壇し、市長の政治姿勢をはじめ、騒音区域縮小問題、地域医療、農林業行政、地方創生関連など、市政全般にわたって質問を行いました。

今回実施された市長選挙の諸問
題について



市民の会
中野 勝

問① 大勝利を得た最大の勝因をどの様に分析されたか伺いたい。

答 詳細な分析はしていない。報道機関の評価を見て、市民ファースト・食の拠点の白紙撤回・地元医師会の協力のもと、24時間体制の一次救急医療を強く訴えてきた事が評価されたと思う。

問② 一次救急医療と二次救急医療の違いを伺いたい。

答 一次救急医療は軽度の医療で入院を必要とせず、二次救急医療は入院を必要とするものである。

問③ 一般的に24時間での一次救急医療のみの業務では赤字が出ると言われている。赤字が出た場合はどうするのか伺いたい。

答 赤字が出ない様努力する。

問④ 市長の総決起大会が実施され子供エイサーを出演させていた選挙活動に子供を利用する事は、候補者のモラルの問題だと思いが。答 後で講演会の方に聞いて知った。今後この様な事のないよう努

めたい。

問⑤ 選挙運動用「ビラ」の配布場所は制限されているが、配布できない場所で配布されている。この事をどう思うか伺いたい。

答 私は一日中選挙カーで選挙運動だったのでわからなかった。

問⑥ この「ビラ」の配布の件で選管及び警察から注意は無かったか伺いたい。

答 私はわからなかったもので、再度確認した後で連絡する。

問⑦ 「市民ファースト」と言われているが、まず市長自身が見本を示すべきである。前市長は給料を2割カットしてきたが、現市長は何割カットするのか伺いたい。

答 今後検討していく。

問⑧ 市長当選後のNHKの番組で、騒音縮小問題について「2市3町」の所、「1市5町」と発言された。その根拠を伺いたい。又謝罪すべきと思うが、どうか。

答 放送を見ていないのでわからないが、事実ならば認識不足であった。心からお詫び申し上げる。

問⑨ 騒音体感調査が2月17日から4日間、12カ所で実施された。市長はどこに何回立会いされたか。答 公務の都合で、都於郡に1回しか立会いはしていない。

教育行政と高齢化社会における
生涯スポーツのあり方について



新緑会
北岡 四郎

問① 学力向上対策の中で、基礎学力については、年度始めに全国学力学習調査がある。その公表方法について西都市では、具体的な数値等には触れず調査結果の傾向が公表される。この表現方法では、市民に分かりにくく、理解しづらい。保護者、地域、市民が共有して学力向上の意識の醸成を図るため、公表のあり方について、本市の学力が、全国や県などと比較が一目で理解できるような数値化したものを公表する考えはないか伺いたい。

答 市民に子ども達の学習状況や教育委員会の取組み等を分かりやすく、正しく理解して頂く為に、基礎学力の結果を公表することは、大切だと認識している。市民が丸となって子ども達の豊かな教育環境づくりを推進するきっかけとなるよう、数値化のメリットにも配慮した公表を次年度から取り組

んでまいりたい。

問② 学校再編計画について、検討委員会が、これまで2回開催されたとの事だが、どのような内容が議論されたか伺いたい。

答 第1回会議は、昨年6月3日、第2回会議は、昨年12月21日に行っている。その中で、統合再編する際のメリット、デメリット等、議論が重ねられた。その内容は、人口減少によって、いずれ学校の統合は避けられない課題であるが、現在の形を維持しながら教育的な効果が最大限に出来るやり方を模索して行う事が重要だと確認したところである。

問③ 高齢化社会に於ける生涯スポーツのあり方について、本市の高齢化率は、33%を超えている。高齢者の健康づくりと交流人口対策について伺いたい。

答 パークゴルフによる交流人口増対策として、パークゴルフ発祥地の北海道では、全国のパークゴルフ場を紹介しているパークゴルフ場ガイドなどが置いてあり、本市でも、各種競技団体を通じて情報発信やPR活動等を行い、交流人口増を図っていききたい。

二次救急医療充実の為に新病院の建設を



政友会
黒木 正善

問① 救急搬送された急病者のうち約60%が入院治療の必要な二次救急患者。

市民が望んでいるのは入院の必要のない軽症患者を受け入れる一次救急医療の24時間体制ではない。重症の時に即入院治療ができる二次救急医療の24時間体制である。二次救急医療なくして救急医療の充実はない。

しかし、今の常勤医師5人体制では疲弊してしまうので、新たな常勤医師の確保が急務であるが、昭和55年に建設され老朽化した今の病院で新たな医師を確保することは難しい。

西都児湯10万2千人の中核的な病院として、また大規模災害時には多くの患者を受け入れることができる災害拠点病院としての役割

割をしつかりと果たせる新病院をつくり、医師の確保に取り組みることが最優先課題である。

早急に場所を決定し、基本構想にのっとった病院建設に向けて取り組んでいただきたい。

答 公的病院として、また西都児湯二次医療圏の中核的医療機関としての役割をしつかりと担える病院づくりが基本となる。

平成33年度完成が予定されているが、一日でも早く救急医療、地域医療、災害医療を充実させるため、スピード感をもって取り組みスケジュールに遅れが出ないように努力していきたい。



新病院建設が望まれる
西都児湯医療センター

市長の政治姿勢・地方創生・高齢者社会の交通対策について



新緑会
太田 寛文

問① 今後の医療体制と一次救急医療について伺いたい。

答 市民の期待と要望は多い。地域医療・救急医療は、重点的に取り組む。市民と一緒に考え、早く充実した地域医療体制の確立を図っていききたい。24時間体制の一次救急医療の実現には、多種多様な問題があり、すぐにできるとは考えていない。宮医大と地元医師会などと協力していきたい。

問② 西都人会議の内容について伺いたい。

答 分野別、テーマ別に20名程度を1グループにして、市民や有権者などで構成を行い、本市の課題等に対する市民の意見を把握し、各種施策に反映していく。選任は原則公募とし、定期的なものを含め年数回程度開催したい。

問③ 今後の農業振興対策について伺いたい。

答 旧整備地区の再整備については、農地中間管理機構等の事業を

含め関係機関と連携して進めていきたい。農業後継者が、一定期間研修できるハウス等の設置については、農協で計画があるようである。支援については、今後の進捗状況等も見ながら考えていきたい。

問④ 国の地方創生の成果が出ていない。市の現状と成果について伺いたい。

答 市では、「さいと未来創生総合戦略」に基づいた雇用創出にかかる産業振興・移住定住の推進・出産・子育て等少子化対策などに取り組んでいる。27年度の事業評価では、対象となった69の事業のうち数値目標を概ね達成したものは全体の約7割であった。公約である「西都しごと創生本部」については、庁内の関係課と関係機関を交えた組織体制に取り組みたい。

問⑤ 高齢者運転による事故や一人暮らしが増加している。コミュニティバス等の利用状況と課題について伺いたい。

答 コミュニティバスは、年間延べ1万7千人の方が利用されているが、一部低調な地区もあるため、昨年調査を行い、利用者から意見を聴取した。三財・穂北の一部でデマンド型タクシーを試験運行し、今後の方向性を検討したい。

市長の政治姿勢について



信の会
田爪 淑子

問① 選挙公約の「市民ファースト」とはどのような事なのかお尋ねしたい。

答 市民と行政が対等な立場で議論を行い、みんなが同じ方向を向いて協力しながら進めることが重要だと考えている。

問② 市民100人による「西都人会議」についてお尋ねしたい。

答 市民代表100人が分野別、テーマ別に4〜5のグループを作って議論し、本市課題解決の解決策について提言をいただく会議を考えている。

問③ 地域に密着した高等学校の創生についてお尋ねしたい。

答 平成30年度に開設される高等学校は「西都市にこの高校あり」と言われるような学校創生への支援を行いたいと考えている。

問④ 未就学児の医療費無料化を公約に挙げておられるがその事についてお尋ねしたい。

答 受診率が高い未就学児の医療

費を無料化し、子育て支援の施策として環境づくりを行い少子化対策につなげたい。

問⑤ 西都市の課題解決の中で地方独立行政法人西都児湯医療センターの今後の取り組みについてお尋ねしたい。

答 この法人は西都市が設立したもので、公的医療機関であることから市民が安心する医療提供体制の整備のため、今後は一次救急医療体制の充実に必要な新病院建設に向けて取り組みたい。

問⑥ 食の拠点「道の駅」建設用に購入した土地の活用方法についてお聞きしたい。

答 庁内に検討会を設置し、法律で認められた事業について有効な土地利用を検討したい。

問⑦ 高齢者らの交通弱者に対してどのような取り組みをされるかお尋ねしたい。

答 一部の地区でデマンド型バス・タクシートの試験運行をし、現行のコミュニティバス運行の見直しを考えている。

問⑧ 市長の市政運営で念頭に考えることは何かをお尋ねしたい。

答 地域の特性を活かした地方創生に向けて、市民のニーズとマッチした市政運営を目指すことが重要であると考えている。

市長の市政運営、防災対策、さいとくポイント制度について



公明党
曾我部貴博

問① 市長の公約に「西都人会議」の創設を掲げているが、若い世代を中心とした若者の若者による会議と、未来ある市内の中高生の声を聴く機会も設けるべきと考えるが見解を伺いたい。

答 若者を中心としたグループや女性を中心としたグループなど、創りたいと考えている。更に、これからの西都市を担う中高生についても、様々な意見を伺うことは大切なことだと思っているので、規模や時期等について検討してまいりたいと考えている。

問② 「中心市街地へIT関連企業などを誘致し、新たな雇用の創出を図り活性化を進めたい」と述べておられるが具体的にはどのような構想を持たれているのか伺いたい。

答 少子高齢化等に伴う人口減少や空き店舗増大、通行量の減少等で中心市街地の賑わいが失われ空洞化しつつある現状のもと、今後、

商工会議所や地元商店会等と緊密に連携を図りながら、いかにして商店街の維持・発展を図るか、また中心市街地へどのような人々の流れを作り出すかなどについて協議を進めたい。

問③ 今後は体育館等での避難所開設・運営を想定した図上避難所運営ゲームの訓練を、実際に参加者が仮想避難者・支援者となり、体育館を使って実践型シミュレーションを実施すべきと思うが考えを伺いたい。

答 市民参加型の避難所運営訓練は必要だと考える。大規模災害時は支援者も被災者となり得るため、みんなが助け合う意識をもって避難所運営を行うということを啓発しながら、今後どのように訓練を実践していくか検討していきたい。

問④ さいとくポイント対象イベントへ多くの人に参加してもらうためにも対象事業の追加は可能か伺いたい。

答 現在対象としている事業の他にも、地域コミュニティの活性化を図るための事業やボランティア活動などが考えられるので、所管する担当課等との協議を重ねながら、追加すべき事業やイベントについて検討していきたいと考えている。

医療センター、ポイント制度、グリーンベルトほかについて



如水会
恒吉 政憲

問① 西都児湯医療センターについて、地元医師会との協力関係について伺いたい。

答 市と医療センター、医師会との3者による地域医療協議を行った。さらに、重要課題である医師確保について、宮崎大学医学部へ常勤医師の派遣要請を、近日中に3者で取り組む予定としている。

問② 本庁舎の建替えまでの間、耐震性の低い建物上にある機能の移転も必要かと思うが市長の見解を伺いたい。

答 機能の移転については、様々な事項についての検討が必要な中で、慎重に対応したい。

問③ さいとくポイント制度が、地域通貨として市内全域に根付き地域活性化に貢献するためには、ポイント対象事業という底辺の拡大が肝要と考える。そこで現在の41のポイント対象事業に加え、各地区のボランティア「見守り隊活動」、「認知症サポーター養成講座」、

各地区小中学校での「読み聞かせ」ボランティアの3つの事業を提案したいが見解を伺いたい。

答 ご提案の3つの事業については、これらの市民活動が活発になることで、地域の安全、安心、情操教育等の向上につながると考えられるので、対象事業に加える方向で検討したい。

問④ 歩道のない通学路における安全対策としてのグリーンベルトが、先月、三納小中学校に通ずる県道40号線（都農〜綾線）に設置された。今後の市道における設置計画について伺いたい。

答 通学路等で、歩道設置が困難な箇所でのグリーンベルトの設置は、非常に有効な対応策である。今後、教育委員会等の関係機関と合同点検を行い、交通事故防止のため、必要な箇所にはグリーンベルトを設置していきたい。



グリーンベルトに沿って通学する児童たち

市長の政治姿勢について



進さいと
荒川 昭英

問① 市長に就任された現在の心境と市政に関する熱意を伺いたい。

答 市長としての重責と使命を厳粛に受け止め、信頼と期待に応えるため、全力で市政運営に邁進する決意を日々、新たにしている。西都の多くの宝を活用して行くかが本市発展の「カギ」と思うので

「市民みんなで創る元気な西都」の実現に向けて努力して参りたい。

問② 本市の現状と課題を踏まえ、どの様な考えで市政運営を図って行かれるのか伺いたい。

答 「西都の地方創生」として公約に掲げているが、少子高齢化と過疎化という人口減少などの問題もあり、色々な課題にも繋がっている。課題をしっかりと分析し、市民みんなで共有する必要がある。市民と行政が対等な立場で議論し、協議を重ねる中で結論を見つけて行くような市政運営を行いたい。

問③ 平成29年度当初予算編成に当たったの考えを伺いたい。

答 市長就任直後であり、経常的経費を中心とした骨格予算を念頭に編成した。尚、政策判断を要する新規事業や継続事業は、6月補正予算に計上したい。

問④ 救急医療の充実に向けての施策と医療センターの施設整備についての基本的な考えを伺いたい。

答 充実のために、医師確保や施設整備、医師会や宮崎大学などの支援・協力体制の構築などの施策に取り組みたい。施設整備については、施設整備基本構想に沿った施設整備を目指し、公的病院として、また二次医療圏の中核的医療機関としての役割が担えることができる施設整備を目指したい。

問⑤ 市有地となった、食の拠点施設用地についての感想と今後の対処策について伺いたい。

答 市民の意見をよく聞き、多くの方が納得する政治を行うことが重要と考える。現在地での施設整備はないが、食に関する情報発信拠点整備は必要と思っている。

問⑥ 防音対策などの補償区域の縮小案に対する考えを伺いたい。

答 騒音は甚大であり、市民にとって耐えがたいものと認識している。民意を無視した今回の見直し案に断固反対し、十分な被害回復を行うよう防衛省に強く求めたい。

市長の政治姿勢について



新緑会
橋口登志郎

問① 一次救急24時間体制の公約について伺いたい。

答 容易に実現出来るものではないと認識しているが、努力したい。

問② 新病院を一次救急24時間体制でとらえると収支面で赤字となると思われる。二次救急医療を中心に考えるべきではないか。

答 次年度から策定に着手する施設整備基本計画で十分検討したい。

問③ 騒音区域縮小問題をどう考え、どう取組まれるか伺いたい。

答 住民の感情を無視し、国に対する信頼関係を根底から覆すものと考え、断固反対していく。

問④ 国際交流について伺いたい。
答 台湾羅東鎮との交流は本市在住の黒木さんの働きかけで始まり大きくなった。相互交流協定を結び色々な分野で本市の活性化に結びつけたい。

問⑤ 高校統合の取組みについて伺いたい。

答 新高校は西都にこの学校あり

と言われるような学校の創生を支援し、魅力ある高校としたい。

問⑥ 新学校の学科を伺いたい。

答 普通科4学級、内1学級が文理科学コース、福祉学科1学級、情報ビジネスフロンティア科2学級の、7学級280名である。

問⑦ 部活動も高校の活性化や入学希望者増加に寄与すると思う。特に空手など西都児湯地区に中学生が多い。市長の考えを伺いたい。

答 部活動の支援は行いたい。県教育委員会は柔道、剣道、空手など武道の新たな部活動の開設も検討している。

問⑧ 新学校名に妻という文字を入れるのは伝統歴史をうかがい知るのに良いものと考えるが。

答 両校の歴史や伝統は新高校に於いても継承され、発展していくことを願っている。

問⑨ さいとくポイントカードとマイナンバーカード活用との連携について伺いたい。

答 研究すべき課題である。

問⑩ 移住定住支援を伺いたい。

答 Uターン・Iターン・Jターンの支援策としてお試し滞在・住宅の取得や改修・賃貸に対する助成、子育て世代の環境整備などに努め、移住しやすく、住んで良かったと思われる支援をしたい。

「道の駅」計画の白紙撤回と24時間救急医療実現への道筋は



日本共産党
狩野 保夫

問① 現職に大差をつけて当選した市長選挙の勝因について見解を伺いたい。

答 選挙戦を通じて「市民ファースト、市民と行政が対等な立場で議論できる市政の実現」や「食の拠点の白紙撤回」、そして「地元医師会との協力のもと24時間体制の一次救急医療」を強く訴えたことが市民の幅広い支持を得たのではないかと考えている。公約を実現し市民の信頼に応える決意である。

問② 「食の拠点」(道の駅)整備計画について。

答 「道の駅」に対する有権者の審判は明確である。公約を守り「白紙撤回」の表明を求めたい。

問③ 現在の建設予定地での施設整備は「白紙撤回」する。

答 「道の駅」整備計画に対する市長と賛成した議員の行政責任及び賠償責任について見解は、
答 用地取得の手続きに瑕疵はな

いと考える。

問③ 市長選挙の「マニフェスト」では、「地元医師会の協力のもと、24時間体制の一次救急医療を復活させ、さらに新病院建設にも取り組む」と、施策の方向が示されている。しかし市長選挙では、現職陣営から「押川が市長になったら、新病院はできない。医者も辞めるといつている」等の「誹謗中傷」が行われた。そこで、「誹謗中傷」に明確に反論する意味でも施設整備計画と、マニフェスト実現に向けた道筋と決意を伺いたい。

答 いつでも安心して一次救急医療を受けられる医療提供体制は、市民の願いである。この体制実現には、地元医師会の協力も不可欠であり、新病院建設も必要と思っ
ている。容易に実現できるとは考えてはいないが、議会、医療センター、地元医師会、宮崎大学医学部、県、そして市民と協議し、知恵を出し合って進めていくことが重要であると思っ
ているので、市民の信頼と期待に応えるため、全力で取り組む強い決意である。
問④ 新田原基地騒音区域縮小計画について見解を伺いたい。
答 今回、示された大幅縮小計画は、住民の感情を無視したものであり、断固反対し、市民の被害回復を防衛省に強く求めたい。

委員会構成の変更

さきに執行された西都市議会議員補欠選挙において当選された橋口登志郎議員が総務常任委員に指名されました。

総務常任委員会

委員 橋口登志郎

議案審議結果

第1回定例会（3月6日～3月31日）で審議された議案の概要と結果

- 全会一致で可決
- 賛成多数で可決

条例関係

●第2号 西都市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について（学習等供用施設椿原館が完成することに伴い公の施設として設置することについて所要の整備を行うおととするもの）

●第3号 西都市水道事業の設置に関する条例の一部改正について（永野・平郡地区営農飲雑用水施設を統

合することに伴い所要の整備を行うおととするもの）

●第4号 西都市都市公園条例の一部改正について（西都原運動公園の施設整備等に伴い所要の整備を行うおととするもの）

●第5号 西都市寡婦医療費助成に関する条例の一部改正について（医療費助成対象者の拡大及び助成額増額等のため所要の整備を行うおととするもの）

●第6号 西都市介護保険条例の一部改正について（平成29年度における保険料率の特例措置適用に伴い所要の整備を行うおととするもの）

●第7号 西都市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について（地域密着型サービスの実施に伴い所要の整備を行うおととするもの）

●第8号 西都市市税条例等の一部改正について（社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部を改正する法律及び地方税法施行令の一部を改正する政令等の一部を改正する政令の施行に伴い所要の整備を行うおととするもの）

●第9号 西都市非常勤の特別職職

員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について（災害調査連絡員の報酬加算額見直しに伴い所要の整備を行うおととするもの）

●第10号 公益的法人等への職員派遣等に関する条例の一部改正について（派遣職員の給与に関する規定について所要の整備を行うおととするもの）

●第11号 西都市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について（地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い所要の整備を行うおととするもの）

●第12号 西都市職員退職手当支給条例の一部改正について（雇用保険法の一部改正に伴い所要の整備を行うおととするもの）

●第13号 西都市旅費支給条例の一部改正について（車賃支給の見直しに伴い所要の整備を行うおととするもの）

●第14号 西都市個人情報保護条例等の一部改正について（個人情報保護法等の一部改正に伴い所要の整備を行うおととするもの）

●第15号 西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について（妻地区教職員住宅等の廃止に伴い所要の整備を行うおととするもの）

予算関係

●第15号 平成28年度西都市一般会計予算補正（第11号）について（総務費、衛生費など総額3107万9千円を増額補正しようとするもの）

●第16号 平成28年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第5号）について（共同事業拠出金など総額9047万9千円を減額補正しようとするもの）

●第17号 平成28年度西都市簡易水道事業特別会計予算補正（第4号）について（施設費など総額1529万3千円を減額補正しようとするもの）

●第18号 平成28年度西都市下水道事業特別会計予算補正（第3号）について（土木費から2116万円を減額補正しようとするもの）

●第19号 平成28年度西都市営住宅事業特別会計予算補正（第3号）について（住宅費から489万円を減額補正しようとするもの）

●第20号 平成28年度西都市農業集落排水事業特別会計予算補正（第3号）について（農業集落排水事業費から263万円を減額補正しようとするもの）

●第21号 平成28年度西都市介護保険事業特別会計予算補正（第5号）

について（保険給付費など総額 86万7千円を減額補正しようとするもの）

●第22号 平成28年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正（第4号）について（後期高齢者医療広域連合納付金など総額7万8千円を増額補正しようとするもの）

●第23号 平成28年度西都市水道事業会計予算補正（第4号）について（配水設備工事費など総額533万8千円を減額補正しようとするもの）

●第24号 平成29年度西都市一般会計予算について

●第25号 平成29年度西都市国民健康保険事業特別会計予算について

●第26号 平成29年度西都市簡易水道事業特別会計予算について

●第27号 平成29年度西都市下水道事業特別会計予算について

●第28号 平成29年度西都市営住宅事業特別会計予算について

●第29号 平成29年度西都市農業集落排水事業特別会計予算について

●第30号 平成29年度西都市介護保険事業特別会計予算について

●第31号 平成29年度西都市西米良村介護認定審査会特別会計予算について

●第32号 平成29年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算について

●第33号 平成29年度西都市後期高齢者医療特別会計予算について

●第34号 平成29年度西都児湯いじめ問題対策専門家委員会特別会計予算について

●第35号 平成29年度西都児湯いじめ問題調査委員会特別会計予算について

●第36号 平成29年度西都児湯公平委員会特別会計予算について

●第37号 平成29年度西都市水道事業会計予算について

●第60号 平成29年度西都市一般会計予算補正（第1号）について（宮崎県との人事交流に要する経費として総務費に591万3千円を増額補正しようとするもの）

その他

●第1号 西都児湯公平委員会委員の選任について
水田 祐輔 氏（再任）

●第38号 地方独立行政法人西都児湯医療センター中期目標の一部変更について（先に議決を得た地方独立行政法人西都児湯医療センター中期目標の一部を変更しようとするもの）

●第39号 辺地総合整備計画の変更について（先に議決を得た銀鏡・中尾辺地に係る総合整備計画（平成27年度から平成31年度まで）を変更する必要が生じたため、議会の議決を得ようとするもの）

●第40号 辺地総合整備計画の変更について（先に議決を得た尾八重辺地に係る総合整備計画（平成27年度から平成31年度まで）を変更する必要が生じたため、議会の議決を得ようとするもの）

●第41号 市道路線の廃止について（起点及び終点の変更に伴い、市道路線を廃止しようとするもの）

●第42号 市道路線の認定について（市道としての要件を具備しているため、市道路線に認定しようとするもの）

●第43号 西都市農業委員会委員の任命について 壹岐 敏秀 氏

●第44号 西都市農業委員会委員の任命について 井上 良尚 氏

●第45号 西都市農業委員会委員の任命について 今井 妙子 氏

●第46号 西都市農業委員会委員の任命について 緒方 秀雄 氏

●第47号 西都市農業委員会委員の任命について 川崎 まり子 氏

●第48号 西都市農業委員会委員の任命について 兒玉 勝征 氏

●第49号 西都市農業委員会委員の任命について 佐々木 四郎 氏

●第50号 西都市農業委員会委員の任命について 外山 正一 氏

●第51号 西都市農業委員会委員の任命について 中武 茂 氏

●第52号 西都市農業委員会委員の任命について 中武 達志 氏

●第53号 西都市農業委員会委員の任命について 長友 一四郎 氏

●第54号 西都市農業委員会委員の任命について 長友 正廣 氏

●第55号 西都市農業委員会委員の任命について 松浦 和幸 氏

●第56号 西都市農業委員会委員の任命について 松浦 淳一郎 氏

●第57号 西都市農業委員会委員の任命について 湯淺 幸二 氏

●第58号 西都市農業委員会委員の任命について 和田 一男 氏

●第61号 西都市学習等供用施設の指定管理者の指定について（西都市学習等供用施設椿原館の管理を行わせるものを指定するもの）

●第62号 地方独立行政法人西都児湯医療センター中期計画の一部変更について（地方独立行政法人西都児湯医療センターが中期計画の一部

を変更しようとするものについて認
可しようとするもの)

●第63号 指定管理者の指定につ
いて(西都原ガイダンスセンターの
管理を行わせるものを西都市観光協
会に指定しようとするもの)

議員提出議案

●第1号 資源循環型林業の確立に
よる地方創生の実現を求める意見書
の提出について(資源循環型林業の
確立による地方創生の実現を求め
る意見書を提出しようとするもの)

議案等の審査

総務常任委員会

今期定例会において、総務常任
委員会に付託されました議案14
件について、その審査の経過と結
果をご報告申し上げます。

議案第8号 西都市市税条例等の
一部改正について

議案第9号 西都市非常勤の特別
職職員の報酬及び費用弁償に関す

る条例の一部改正について

議案第10号 公益的法人等への
職員の派遣等に関する条例の一部
改正について

議案第11号 西都市職員の育児
休業等に関する条例の一部改正に
ついて

議案第12号 西都市職員退職手
当支給条例の一部改正について

議案第13号 西都市旅費支給条
例の一部改正について

議案第14号 西都市個人情報保
護条例等の一部改正について

議案第24号 平成29年度西都市
一般会計予算について(本委員会
に付託をされた部分について)

議案第35号 平成29年度西都児
湯いじめ問題調査委員会特別会計
予算について

議案第36号 平成29年度西都児
湯公平委員会特別会計予算につい
て

議案第39号 辺地総合整備計画
の変更について

議案第40号 辺地総合整備計画
の変更について

議案第60号 平成29年度西都市
一般会計予算補正(第1号)につい
て

議案第61号 西都市学習等供用
施設の指定管理者の指定について

の議案14件につきまして、いずれ

も種々質疑の後、別段異議なく、
採決の結果、全会一致をもって原
案のとおり可決すべきものと決し
ました。

なお、議案第24号の審査の過程
においてある委員より「コンビニ
交付事業で4759万円が計上さ
れている。これは、市民課等の窓
口業務の証明書をコンビニでも発
行出来るようになるということ、
非常に市民の利便性も高まると思
うが、一方でマイナンバーカード
の交付率が約7・7%と非常に低
い。4700万円ほどの予算をか
けて事業を行うのであれば、マイ
ナンバーカードの交付率が高まる
ような努力をしていただきたい」

また、ある委員より「地方バス
路線対策事業について、現在、高
齢者社会が進むなか、高齢者運
の事故や道路交通法の改正などに
より、交通弱者の増加が懸念され
る。高齢者の皆さんが安心して暮
らせるための足の確保は重要だと
考える。今回、コミュニティバス
に加え、デマンド型タクシートの導
入が検討されている。現在、地区
で説明会等が行われているように
あるが、地区の皆さんの要望を聞
いて、更に高齢者の方が利用しや
すい事業にしていきたい」と
との意見・要望がありました。

文教厚生常任委員会

今期定例会において、文教厚生
常任委員会に付託を受けました議
案14件について、その審査の経過
と結果をご報告申し上げます。

議案第4号、第5号、第6号、
第7号、第31号、第32号、第34号、
第38号、第59号、第62号の10件
の議案については、全会一致をも
って原案のとおり可決すべきもの
と決しました。

議案第24号、第25号、第30号、
第33号の4件の議案については、
反対討論がなされましたが、多数
をもって原案のとおり可決すべき
ものと決しました。

なお、議案第62号 地方独立行
政法人西都児湯医療センター中期
計画の一部変更については、地方
独立行政法人西都児湯医療センタ
ーの3名を参考人として招致し、
意見を伺いました。主な質疑とし
ては「今回の見直しは、当初計画
の計算に曖昧さがあったので、病
院の基本計画、実施計画を作って
いく状況を踏まえ、それにふさわ
しい見直しをされるものと理解し
て良いのか」との質問がなされ、

長田参考人からは、「そのように理解して良いと思います」との回答がなされました。

審査の過程での主な意見要望については次の通りでありました。

議案第24号については、「各地区館で開かれている講座では、高齢者の参加が多く、その時のトイレの使用に当たっては、和式トイレであるため大変不便をかけている。現在では、市民会館や地区館以外の公共施設でもトイレの洋式化が計られてきているため、地区館などの公共施設、特に学校等での洋式化へ早急な対応をお願いしたい」、「都於郡城跡ガイダンスセンター建設に当たっては、管理計画を策定するなど、建設後の管理体制を明確にしていたいただきたい」、「子ども医療費については高校生まで拡充していただきたい」、「西都原運動公園北側のトイレ改修を早期に実施していただきたい」

第30号については、「高い介護保険料の減税、減免を要望したい」

第59号については、「医療センターの要望を受け、廃止される6戸の教職員住宅については、地元の方々への丁寧な説明をされ、有効な活用を図っていただきたい」

第62号については、「中期計画の一部変更が議決されることよって、新病院建設への準備が進められることになると思うが、多額の事業費を必要としているだけに、基本計画策定においては、医療センターや派遣されている職員、またはコンサル任せにせず、行政と医療センター、医師会、関係機関等による、基本計画策定を支援し、検証する組織をつくり、誰もが納得のいく基本計画の策定を進められることを強く要望したい」



西都児湯医療センターへの参考人招致の様子

産業建設常任委員会

今期定例会において、産業建設常任委員会に付託されました議案25件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

議案第3号 西都市水道事業の設置に関する条例の一部改正について

議案第24号 平成29年度西都市一般会計予算について（本委員会に付託された部分について）

議案第26号 平成29年度西都市簡易水道事業特別会計予算について

議案第27号 平成29年度西都市下水道事業特別会計予算について

議案第28号 平成29年度西都市営住宅事業特別会計予算について

議案第29号 平成29年度西都市農業集落排水事業特別会計予算について

議案第37号 平成29年度西都市水道事業会計予算について
この7件の議案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって可決すべきものと決しました。

次に、議案第41号 市道路線の廃止、及び議案第42号 市道路線

の認定についてであります。この2件の議案については、現地調査を行い、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、ある委員より「今回の市道認定路線延長線にある（仮称）無名橋について、市道の認定及び架け替えを含め検討していただきたい」との意見・要望がなされました。

次に、議案第43号から議案第58号 西都市農業委員会委員の任命についてであります。

この16件の議案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって同意すべきものと決しました。



市道茶屋元堀内線 現地調査

新田原基地対策調査 特別委員会報告

新田原基地対策調査特別委員会は、「新田原基地の騒音に伴う住宅防音工事助成区域拡大、告示後住宅の取り扱いの見直し及び安全運航対策並びに防音施設整備促進を図るため調査活動を行うこと」を目的に設置されました。

活動としては、延べ30回の委員会、新田原飛行場に係る騒音区域等縮小案の撤回に向けた国等関係機関への抗議活動、厚木基地周辺の自治体である綾瀬市への行政調査、新田原基地司令への表敬訪問等を行いました。

11月17日に本特別委員会に対し当局より、九州防衛局の示した「新田原飛行場に係る第一種区域等の見直しについて」の報告を受けました。この報告を受け、今日に至るまで新田原飛行場に係る騒音区域等縮小案の撤回に向け協議を続けております。

この間の、要望活動や意見交換会といたしまして、参議院外交防衛委員会委員長である宇都隆史参議院議員と新田原基地周辺議会議

員との意見交換会に議長及び委員長で出席し、また、「新富町議会基地対策特別委員会」と本委員会との意見交換会を実施しました。

次に、12月8日に、本委員会は九州防衛局に対する要望活動を実施し、「新田原飛行場に係る騒音区域等縮小（案）に反対する意見書」の提出を行いました。

次に、「妻地区自治公民館連絡協議会役員会」、「区長連絡協議会理事会」にこれまでの活動を報告し、意見交換会を実施しました。

次に、1月18日に、本委員会は議長及び江藤拓衆議院議員、松下新平参議院議員、長峯誠参議院議員に同席をしていただき防衛省に対する要望活動を行いました。防衛省においては、小林鷹之防衛大臣政務官に意見書を直接手渡し、その後、深山地方協力局長及び松田防音対策課長により対応いただきました。騒音区域等縮小（案）については到底受け入れられるものではないと強く抗議し、さらに現地へ赴き騒音を体感する調査を行うとの回答を得たところです。

次に、防衛省が騒音体感・測定調査を2月17日、20日、21日、22日の4日間にかけて、常時騒音測定器設置場所を含め西都市内13

カ所で実施したため、本委員会で立ち会いを行いました。

次に、防衛省が騒音測定調査を3月13日から17日にかけて再度実施したため、本委員会で新富町の富田干拓記念碑前及び北3号公園での視察を行いました。

騒音区域等を縮小する見直し案が示され、本特別委員会としても、到底受け入れられるものではないとして防衛省等に要望活動を行うなど、鋭意活動を展開してきました。防衛省は、本特別委員会の要請を受け、本市に赴いたうえで騒音体感調査を実施し、当初の予定であった年度内の区域解除告示を見送るなど、若干の進展が見られました。防衛省によると今後も騒音体感調査を実施していき、地元への理解を得たいとのこと。そのため本市独自の騒音測定調査をより一層充実させ、独自の騒音測定結果と合わせて抗議していくことが必要であると考え、航空機騒音識別装置付き騒音測定器及び簡易型騒音測定器の増設を求めます。本特別委員会としては今後も国の動向を注視し、騒音区域等縮小（案）の撤回に向けての要望等を実施していきたいと考えております。

救急医療対策調査 特別委員会報告

平成28年度における救急医療対策調査特別委員会の調査活動の経過並びに結果について御報告いたします。

本特別委員会は、昨年6月7日の定例会におきまして、「市民が求める救急医療を充実させるための環境整備等について調査検討を行うこと」を目的に設置されたところであります。

まず、6月24日、地域医療対策室より西都児湯医療センターの決算報告と西都市立診療所の指定管理者の理事長及び管理者の変更についての報告を受け、質疑を行いました。また、今年度の活動方針について協議し、宮崎県医療薬務課への訪問及び意見交換や新病院建設関係の行政調査等を行うことを決定したところであります。

次に8月22日、行政調査について協議を行い、地方独立行政法人芦屋中央病院の調査を実施するこ

とで決定したところであります。次に10月20日に行った、福岡県芦屋町の地方独立行政法人芦屋中

中央病院の行政調査については、芦屋中央病院は、平成27年4月に法人化となり、平成28年度より新病院建設工事に着手となった。現在と同じ病床数137床を維持した中で、住民に必要な地域医療の確保と安全で安心な病院の実現を目指し、平成30年開院を予定している病院であります。

調査事項について、芦屋中央病院職員より説明が行われ、その後、質疑応答を行いました。

芦屋町では、新病院建設を行うまでに住民アンケートを実施し、それを基に委員会が協議・検討をした上で、さらに議会や住民に繰り返し説明会を開催することで住民からの理解を得ていました。住民目線に立った行動が今回の新病院建設に繋がったと強く感じたところであります。また、国の交付税や補助金を最大限に活用し、自治体負担については総事業費の約15%を見込んでおり、新病院建設に向けた計画的な取り組みが見受けられました。

次に10月31日、地域医療対策室より西都児湯医療センター施設整備基本構想懇話会の第1回、第2回の会議要録について説明がありました。また、第3回懇話会にお

いて新病院建設事業費の参考とする小林市立病院への視察及び宮崎県医療薬務課との意見交換を実施することに決定しました。

次に11月14日、宮崎県庁において医療薬務課より地域医療構想についての説明を受け、その後、質疑応答を行いました。また、同日の午後より、小林市立病院の視察を行いました。小林市立病院の新病院建設についての建設までの取り組みや建設事業費、新病院建設後の課題等について説明を受け、質疑を行い、その後、施設見学を行いました。

次に2月24日、地域医療対策室より西都児湯医療センター施設整備基本構想(案)の資料の配付がされ、この内容等について、2月27日に文教厚生常任委員会と連合審査を行い、地域医療対策室より西都児湯医療センター施設整備基本構想(案)についての概要説明を受けました。基本構想(案)については全議員に報告した方が良いと考へ、議会全員協議会の開催を申し入れました。

本特別委員会を昨年6月に設置後、これまでに計8回の委員会等を開催してきました。

平成28年4月1日より医療法人

財団西都児湯医療センターが公的な地方独立行政法人西都児湯医療センターとして誕生しました。

本年は宮崎大学医学部附属病院救命救急センターの落合センター長をはじめ、区長連絡協議会や地域づくり協議会連絡会等、市民団体の代表者からなる「施設整備基本構想懇話会」を設置し、施設整備の基本構想に幅広い分野の意見を反映させるために5回の懇話会が開催されています。

現在、この懇話会で出された意見をまとめ、施設整備基本構想を作成しております。今後、西都児湯医療センターを市民が求める救急医療を担うことができる病院にするためには、免震構造などを取り入れた安心安全な施設の強化や、また、最重要課題でもありません医師の確保のために、医師会や大学病院との連携を十分にとつていただきたいと思います。

最後に新年度には基本計画策定が予定されており、議会としましても更なる調査検討が必要なことから29年度においても本特別委員会の設置を要望し、本特別委員会の報告を終わります。

◆編集後記◆

3月議会は新市長とはじめて論戦を行なう議会でした。10名の議員が登壇。市長選挙で争点になった選挙公約をはじめ、福祉、教育、農業、活性化対策、新田原基地騒音区域縮小問題など、西都市政が抱える諸課題に対する質問が行なわれました。しかし、新市政としての「施政方針」が示されていないもとの論戦でもあったことから、課題によっては、議論が最後までつかみ合わなかったように思えました。次の6月議会では「施政方針」が示されます。市民の代表機関として、議会の役割を果たすためにがんばります。

— 議会報編集委員会 —

委員長	黒木吉彦
副委員長	曾我部貴博
委員	恒吉政憲
〃	荒川昭英
〃	田爪淑子
〃	荒川敏満
〃	中武邦美
〃	中野勝
〃	狩野保夫